

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	輸入食品の検査に必要な事業		事業開始年度	平成3年度		作成責任者
担当部局庁	食品安全部		担当課室	企画情報課検疫所業務管理室		坂本 浩享
会計区分	一般会計		上位政策	-		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	食品衛生法第28条		関係する計画、通知等	平成22年度輸入食品監視指導計画の実施について「平成22年度輸入食品等モニタリング計画」の実施について		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国に輸入される食品等は、年間の輸入届出件数が約176万件、輸入重量が約3,155万トン(平成20年度実績)であり、日本人の食事のカロリーベースの約6割を占めている。このような状況の中、輸入食品のモニタリング検査は多種多様な食品等について食品衛生の状況を幅広く監視することを目的としており、国が輸入食品等の検査を年間計画に基づき重点的、効果的かつ、効率的に実施することにより、輸入食品等の一層の安全性の確保を図る。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	食品の種類ごとに輸入量、違反率等を勘案した統計的な考えに基づき策定された「輸入食品監視指導計画」に基づく検査や違反事案に対応するためのモニタリング検査を、横浜及び神戸の輸入食品検疫・検査センター並びに全国6検査課(東京、成田空港、名古屋、大阪、関西空港、福岡)において実施している。 また、モニタリング検査については、検疫所の検査センター及び検査課において実施が困難な項目の検査や検査強化により一時的に検査が集中した場合には、アウトソーシングにより対応することが可能となっている。					
実施状況	平成18年度のモニタリング計画は78,000件であり、実施件数は79,665件(延べ件数)と実施率は約102%であった。 平成19年度のモニタリング計画は79,322件であり、実施件数は81,519件(延べ件数)と実施率は約103%であった。 平成20年度のモニタリング計画は79,809件であり、実施件数は83,951件(延べ件数)と実施率は約105%であった。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	2,253	2,928	2,594	2,299	2,009
	執行額	2,233	2,894	2,442		
	執行率	99.1%	98.8%	94.1%		
	総事業費(執行ベース)	2,233	2,894	2,442		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	予算の執行にあたっては、厚生労働本省における公共調達委員会や各検疫所が実施する公共調達審査会を開催し、契約方法や調達数量の妥当性、適正性等を審査・検証している。				
	見直しの余地	<ul style="list-style-type: none"> 各検疫所毎で調達している備品・消耗品類について、一括購入が可能なものについては、代表する検疫所において一括購入を行うこと等により、経費の縮減を図っていきたい。 輸出国における現地査察等輸出国検査の強化と輸入時の検査体制の連携強化を図り、効率的な輸入食品検査体制の構築を目指す。 				
予算・監視の効率化	一部改善(事業内容を見直し予算要求に反映) 輸入食品の検査費について、輸入食品監視指導計画と整合性を図りつつ、検査内容を見直すなど効率的な実施を行うべきである。					
補記						

厚生労働本省
2,442百万円

検疫所(13ヶ所)

- ①小樽検疫所 17百万円
- ②仙台検疫所 13百万円
- ③成田空港検疫所 124百万円
- ④東京検疫所 159百万円
- ⑤横浜検疫所 1,390百万円←
- ⑥新潟検疫所 7百万円
- ⑦名古屋検疫所 39百万円
- ⑧大阪検疫所 47百万円
- ⑨関西空港検疫所 63百万円
- ⑩神戸検疫所 470百万円
- ⑪広島検疫所 26百万円
- ⑫福岡検疫所 57百万円
- ⑬那覇検疫所 14百万円

2,426百万円

【一般競争入札】

A シスコシステム
ズキャピタル(株)
9百万円

[輸入食品の検査に必要な
システムの回線使用料]

【随意契約】

B 輸入食品検査
7者 7百万円

[輸入食品の検査に必要な
証書の印刷等]

横浜検疫所

【一般競争入札】

C 芙蓉総合リース(株)
68百万円

[輸入食品の検査に必要な機器の賃貸借]

D (財)日本冷凍食品検査協会
6百万円

[輸入食品の検査に必要な外部委託]

【随意契約】

E 輸入食品検査
2者 15百万円

[輸入食品の検査に必要な外部委託]

F 西川計測(株)
1百万円

[輸入食品の検査に必要な機器の保守管理]

事務費 0.3百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて
補足する)
(単位:百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。用途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. シスコシステムキャピタル(株)			E. (財)日本冷凍食品検査協会		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
通信運搬費	厚生労働省統合ネットワーク~供給等業務(輸入食品監視システム編)	9	雑役務費	輸入食品検査委託 54件	10
計		9	計		10
B. 大和総合印刷(株)			F. 西川計測(株)		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
印刷製本費	食品衛生法第28条に基づく収去・開梱の証等の印刷 2件	5	雑役務費	ガスクロマトグラフ質量分析装置保守業務 外3件	1
計		5	計		1
C. 芙蓉総合リース(株)			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
借料及び損料	ガスクロマトグラフ質量分析装置一式等の賃貸借	68			
計		68	計		0
D. (財)日本冷凍食品検査協会			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
雑役務費	輸入食品検査委託	6			
計		6	計		0

